

カルシウム、リン代謝研究

手術基本情報

- 系統：ラット Crl:CD(SD)
- 性別：雄・雌
- 週齢：4週齢以上
- 手術時間：ラット 15-20分
- 術後観察期間：2日間
- 微生物グレード：ジャクソンラボラトリージャパン SPF項目
- 麻酔薬：ケタミン・キシラジン混合麻酔薬
- 鎮痛剤：カルプロフェン 5mg/kg S.C. SID 手術当日のみ
- 抗生物質：投与なし(必要に応じて投与)

処置概要

1. 体重測定及び一般症状観察を実施後、ケタミン及びキシラジンを用いた混合麻酔薬を腹腔内に投与する。
2. 頸部腹側を除毛し、イソジン液及び70%エタノール液を用いて術野を消毒し、仰臥位に動物を固定する。
3. 頸部腹側皮膚を正中切開後、胸骨舌骨筋を正中切開する。
4. 鑷子を用いて鈍性に甲状腺を分離・摘出し、摘出部分にゼラチンスポンジを挿入する。
5. 止血を確認後、縫合糸にて頸部腹側術創を縫合する。

術後は飲水を通常水から1%乳酸Ca水に切替えて飼育する。

※本書式に記載された術式は、ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社手術グループ手順書「ラット甲状腺副甲状腺摘出」（承認No.20）の内容に準ずる。

手術の精度に関する事項

副甲状腺の摘出は、甲状腺の摘出をもって行っております。また副甲状腺は微小であることから目視での確認が難しく、甲状腺外にも存在する場合があります。結果として不完全摘出となる個体も発生する可能性があります。納入後は血中カルシウムの測定、試験終了時には解剖により摘出されていることをご確認ください。

配送情報

- 輸送箱：プラスチッククレート
- 梱包形態：ラット1-4匹/クレート)、マウス1-8匹/クレート

